

本庄の  
未来を  
変える  
フープーズ

サステナブル!  
七高祭sustaina部

## はじめまして、sustaina部です。

私たちは、本庄市の環境問題に着目して、  
高校生の視点から問題解決に向けてアクションを取ってこうと  
本庄市七高祭の活動の中で本庄市内の様々な学校から集まった  
学年と学校の垣根を越えたメンバーで構成するブカツです。



## 本庄市のごみの排出量は 県内ワースト1位!

本庄市の2021年度の1人1日あたりのごみ排出量は1091gで、  
県内ワースト1位だと聞き、驚きました。

環境問題といっても色々な視点から考えることができます。

ポイ捨てをなくすにはどうしたらいいんだろう?

ごみを減らすにはどうしたらいいんだろう?

という疑問から

クリエイティブな視点で環境問題に取り組む人にフォーカスして取材をし、

高校生の視点から

色々な感想や感覚を本庄市に持ち込もうと決めました。

## sustaina部のテーマ

### 「ごみの新しい観点からの捉え方」

sustaina部としてこんなテーマを掲げて色々リサーチしていると、  
池袋で素敵な活動があると知り、飛び込んでみました。

CASE 1

## Cleanup Coffee Club @豊島区要町

CCCは地域のごみ拾い活動ですが、  
活動目的は街をきれいにすることではなく、地域で友達を作ること。  
そして地域においてただ居るだけで良い場を作ることでした。

要町へ飛び込み、  
CCC発案者の高田将吾さんに  
会うことができました。  
高田さんはコロナウイルスを  
きっかけにCCCを企画。  
人が大勢集まるのは厳しい中で、  
地域の人の居場所を作りたいと  
思い、2022年2月に池袋で  
始まったCCC。  
その活動に賛同した人が各々の  
地域でも開催。  
今では全国に広がっています。



- CCCの流れ
- 1.自己紹介
  - 2.ごみ拾い
  - 3.コーヒータイトム
  - 4.記念撮影
  - 5.告知タイム

ごみ拾いの時間は、体感的にはあっという間でした。  
というのも、時間も短いためもっとやりたい!という気持ちや軽い気持ちで来や  
すいことから何回も持続して来れるのではと感じました。  
コーヒータイトムがあることで、その場所にいる理由もできます。1人でみんなの話  
を横目に聞いてもいいし、コーヒータイトムにみんなとおしゃべりしてもいい。

また、高田さんが挑戦したいこととして、ごみの価値観を変えるような  
「プラスチックごみ=お金になる資源」という社会認識を創出できる仕組みを  
つくりたいと考えているそうです。そんな未来があると、世の中が変わりますね。

## CCC実践者・参加者にインタビュー

—自分の住む街(要町)でCCCを始めた方  
息子が1歳になるタイミングに  
旦那さんが海外に単身赴任になってしまっ  
たことがきっかけで、子供の成長を一緒  
に見守ってくれる人が欲しくて始めました。  
子供が育つ場所だから、  
綺麗なまちにしたいという気持ちも。



—台湾からの留学生の方  
色々な人と交流できて友達がたくさんできました。

CASE

## IKEBUKURO LIVING LOOP

IKEBUKURO LIVING LOOPとは池袋  
東口エリアを中心に、マーケットなど様々な  
社会実験を行いながら、リビングのように  
居心地の良いまちなかを目指す  
“まちなかりビング”プロジェクトです。

リビンググループを運営している飯石藍さん、  
倉林真弓さんにお話をうかがうことができました。会場となるグリーン大通り  
には、常設の木製ストリートファニチャーがあります。これはサンシャイン劇場  
の改装に伴って廃棄予定だった床材を使っており、文化として継承していき、  
物語を紡いでいます。

「アップサイクルって捨てる時期を延ばしてるだけなのでは？」  
たとえ最後は廃棄されるとしても、ごみとしての終わり方をデザインすることに  
意味があります。全ての素材をリサイクルすることはできません。  
だからこそ、ごみの入口と出口をきちんと説明できることが大切。  
また、作るときに循環できるような仕組みを江戸時代や歴史から学び、  
良いところはどんどん面白さと共に受け継いでいく。  
そんな素敵な考えをお話してくれました。



写真提供:株式会社nest

## すぐに、本庄でCCCをやってみました!

都内で起きていることとは違う発見があるのではないが?  
CCC要町での発見をヒントに、本庄駅北口/銀座通りを中心に  
CCCを実践してみました。

## Cleanup Coffee Club @本庄銀座

SNSで企画を告知し、13名(そのうち子供が3名、市外からの参加者も!)  
の方にご参加いただき、本庄での初CCCを開催しました。

### 活動してみて

ごみを拾うために色々なところを歩いて  
みようという気持ちになり、街の普段  
気づけなかったことにも気がつけた。

### 朝から心が満たされた。

学校の授業で、環境問題についてたくさん学ぶ機会がありますが、頭の中の  
知識に留まるだけで、どこか他人事のように捉えてしまう自分がいました。  
しかし、本庄市のごみに関する資料や、池袋で行われている取り組み、  
色々なことに挑戦する人に出会ったことでごみに対する価値観が変わりました。  
環境問題についていいことをやっているという感覚ではなく、自分の暮らしの中  
でこんなのがあったらいいな、というような思い付きから始まり、  
自分自身が楽しんでいて、ワクワクすることを探しながら  
やっている人がいるという発見がありました。  
そして、実際に自分で体験したり、話を聞いたり見たりすることで、  
頭の中の知識と結びついたり、心の底からワクワクしたり、  
無意識のうちに環境問題を意識することができています。





## 活動してみて

ごみというものを、ずっと捨てるものとしか認識していなかったのですが、

**ごみ拾いを一つのコミュニティとすることが面白い!**

本庄でも近いうちにこの感情を多くの人に共有してもらいたい!

と思い、本庄でCCCを企画しました。

月1回、のように頻度を多くしていけば参加してくれる人も多くなってくると  
思います。池袋のCCCで学んだことも取り入れつつ、**実際にやった時に感じたこと**  
なども取り入れてよりよい本庄市にしていきたいと一層思えました。

半径50メートルくらいのうちなのに、場所によってごみの種類、量が全く違った。



ごみ拾いがコミュニケーションツールの一つになるということを実感しました。

ほとんどの人が互いに初対面だったのにも関わらず、  
緊張せずごみ拾いをしながらたくさん話が出来ました。

コーヒーを飲みながらも、話がかかなり盛り上がり、  
帰るときには知り合いになっているのが素晴らしいと感じました。

このシステムは環境保全だけではなく、地域のつながりが弱体化する中で、  
地域の活性化やコミュニティ形成にもつながるとも有効な手段だと思えます。  
この活動は、商店街の美化や活気を取り戻すのにも良い影響をもたらせると  
予想できます。環境問題への取り組みとして行ったことから、  
このように異なった面の効果も実感できるとは思っていなかったのが驚きました。

## 本庄でこんなことできるかも? 今後の活動アイデア

経済と環境は相反するというけど、CCCと本庄市で  
たくさん行われるイベント、マーケットを通して融合できるのでは?

- マーケットは作った人の顔を見て物を購入できる
- CCCではコーヒータイムだが、  
コーヒーではなく、マーケットの飲食の出店で余ってしまった物を買取る

アイデア!

CCCをやると、ごみを見つけるために色々なところに目を凝らすから  
本庄の発見がたくさん生まれるのでは?

本庄市は魅力的な細道がたくさん。  
ごみを探しに歩き回ると、知らない道を発見できて  
新しい本庄市の顔を発見できるかも!

アイデア!

ごみを減らそうと言われても、暮らしの中には一人ひとりの  
正解やあり方があるから、他人事になってしまうのかもしれない。  
でも、CCCをきっかけに、自然とごみについて意識できるようになるのでは?

本庄市にはワクワクする面白い大人が多いから、CCCも  
たくさんアイデアと融合して、どんどん本庄らしさで溢れるのでは?

この活動を通してたくさん本庄市内の魅力ある住民と出会った。  
だから、CCCが本庄の地域密着型のイベントになったらどんどん  
発展していったらもっと面白くなりそう!

本庄CCC独自verとして、告知タイム+  
我が家or最近仕入れたエコ報告タイムをとる  
小さなことでもエコな活動を広げていくことで、何か変化に繋がる。  
ここでできたコミュニティからエコ活動がもっと浸透したら嬉しい。

本庄市民で、本庄市のごみが多いことの認知度が低いのは、  
(車社会で)人と人との交流が少ないからでは？

小さい子からお年寄りまで、とにかくやってみる、楽しんでみる

ごみを減らすには、  
日本人の中にある新しいものを  
たくさん持っていた方がカッコいいという風潮の中で、  
ものの買い方を一人ひとりが考えるといいのでは？

七高祭で活動している中で、たくさんアイデアや考えが生まれました。  
このアイデアを、sustaina部を中心に活動に落とし込んでいきます。

## 「生ごみ出しません袋」のデザインをしました！

市内在住のイラストレーター  
がじゅまるさんとコラボし、sustaina  
部でごみ袋のデザインをしました！  
敢えて、高校生からの訴えとして日  
常会話で使うような表現のハッシュ  
タグにすることで、アクションの輪を  
広げることが可能なものにしました。  
フレーズとして印象に残りやすく、



ごみの「重さ」の意味合いが環境を深く知るほど変わっていくように。  
初めは「質量」としての認識だったものが、ごみ問題の「重大性」としての認識  
に変わっていく面白さがあります。本庄市のごみの減量と、環境に配慮する人  
々のインセンティブの高まりを期待しています。